

5 地域文化の振興

人々の「豊かさ」に対する考え方が「物質的な豊かさ」から「心の豊かさ」へと大きく変化してきたと言われて久しい今日、文化行政に対するニーズも多様化してきており、その役割が益々重要となってきています。

余暇の増大や生涯学習の普及に伴い、地域の文化・歴史・芸術への関心は一層高まり、またそれらは個人の生きがいや自己の啓発はもとより、地域づくりや市民相互のコミュニティーの構築にも大きく寄与しています。

一方、学校教育現場においては、「総合的な学習」の導入によって、地元の文化財、芸術や歴史風土を題材とした取り組みも盛んに行われるようになってきました。

このような社会情勢を踏まえ、豊見城市の文化行政は、薫り高い豊見城の自然や文化に誇りを持ち、その保存、継承発展を図るものとし、下記のとおり事業の推進を図ります。

(1) 歴史的・文化的資源の保全・継承	① 歴史的・文化的資源の保全・継承と関連情報の整理 ② 指定文化財の適切な保全・活用 ③ その他歴史的・文化的資源の保全・活用 ④ 伝統芸能の継承支援と後継者の育成
(2) 文化事業の推進と関連施設の充実	① 文化関連事業の推進 ② 歴史民俗資料展示室の活用 ③ 文化関連講座の開催 ④ 文化関連教育の継続・推進
(3) 市史の調査と記録	① 市史の編さん

5.1 歴史的・文化的資源の保全・継承

本市に残るグスクをはじめとする歴史的・文化的な資源を保全し、次世代に継承していきます。また、関連情報を収集・整理するとともに、広く公開することで市民全体の共有財産としての意識向上を図ります。伝統芸能については、関連組織などへの必要な支援を検討・実施するとともに、後継者の育成も図っていきます。

本市の貴重な財産である「指定文化財」の適切な管理を行っていきます。また、市内に存在する未指定の有形無形の文化財等の調査を行い、郷土の歴史・文化等を学ぶ場として保護・保存・公開・活用を行っていきます。

文化財保護意識の高揚を図るための業務活動、調査研究については、文化財行政の総合窓口として、市内の文化財に関する調査研究及び調査研究成果の還元（資料・報告書等の作成・配布）、学習活動のための講師紹介などを推進します。

なお、これまでに市内で発掘調査が行われ、調査報告書が刊行された遺跡は、下記のとおりとなっています。

○ 発掘調査報告書刊行遺跡 高嶺古島遺跡 渡嘉敷後原遺跡群 伊良波東遺跡 伊良波西遺跡 宜保アガリヌ御嶽 根差部クチャガー 瀬長グスク 重修石火矢橋碑 豊見城グスク 保栄茂グスク 保栄茂古島遺跡 名嘉地の住民避難壕群 豊見城西原遺跡 豊見城古島 B 遺跡 豊見城グスク (市内遺跡等発掘調査) II・III・IV 豊見城グスク (記録保存調査)

5.1.1 指定文化財

豊見城市内に残る貴重な歴史的文化財については、市教育委員会が同文化財保護審議会に諮問し、答申を受け、厳正に協議したうえで、市指定文化財に指定し、その保存措置や研究に際し、様々な施策や取り組みが行われます。現在、下記の11件が市指定文化財として指定されています。

種 類	名 称	所 在 地	指定年月日
有形文化財 (古文書)	豊見城間切嘉敷前大田親雲上勤書 『口上覚』	市教育委員会文化課	平成5年 11月1日
有形文化財 (歴史資料)	重修真玉橋碑	市教育委員会文化課	平成7年 3月29日
有形文化財 (古文書)	『字与根大城家文書』	市教育委員会文化課	平成13年 3月6日
有形文化財 (建造物)	真玉橋遺構	市教育委員会文化課	平成18年 2月22日
有形民俗文化財	饒波の龕	市教育委員会文化課	令和元年 11月1日
有形文化財 (歴史資料)	印部石 ニ かなは原	市教育委員会文化課	令和元年 11月1日
有形文化財 (歴史資料)	印部石 い をなか原	市教育委員会文化課	令和元年 11月1日
有形文化財 (歴史資料)	印部石 ロ めさしふ原	市教育委員会文化課	令和元年 11月1日
有形文化財 (歴史資料)	印部石 ス めさしふ原	市教育委員会文化課	令和元年 11月1日
有形文化財 (考古資料)	高嶺古島遺跡出土 「土製品」	市教育委員会文化課	令和2年 11月2日

有形文化財 (考古資料)	宜保アガリヌ御嶽出土 「骨製品」	市教育委員会文化課	令和2年 11月2日
-----------------	---------------------	-----------	---------------

5.1.2 文化財保護審議会

市教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用等に関する重要事項について調査審議し、これらの事項に関して教育委員会に建議することができる組織として文化財保護審議会が設置されています。委員5人で構成されます。

		氏名	専門分野	任期
1	会長	大城 慧	考古学	令和4年7月1日～令和6年6月30日
2	副会長	上原 壽	市内有識者	同上
3	委員	赤嶺秀義	市内有識者	同上
4	委員	大城博美	民俗学	同上
5	委員	濱口寿夫	天然記念物	同上

5.2 文化事業の推進と関連施設の整備

「総合文化祭」「しまくとぅば子ども教室」等をはじめとする文化関連事業の実施とその支援に努める。「ボランティアガイド」等、本市の文化振興の担い手となる人材育成にも努めます。

郷土の歴史や文化を学ぶ場として「歴史民俗資料展示室」の展示資料の充実を図るとともに、市民が地域学習のできる場として捉えて生涯学習の支援や学校教育との連携を行い、収集した貴重な資料の公開・活用を積極的に行っていきます。

5.2.1 歴史民俗資料展示室



設置趣旨

沖縄戦の激しい戦災によって、私たちの郷土・沖縄県は焦土と化し、古くから伝わる多くの貴重な文化遺産を失いました。私たちの住む豊見城市も例外ではありませんでした。

名称	豊見城市歴史民俗資料展示室
設置日	平成14年(2002年)9月
所在地	豊見城市字伊良波392番地 (市立中央図書館内1階)
面積	330平方メートル(100坪)
開館日	火曜日～日曜日
閉館日	毎週月曜日、国民の祝日、年末年始(官公庁仕事納めの翌日～仕事始めの前日まで)、展示室の整理、燻蒸作業等のため閉館とする日(特別の理由が生じた場合は、上記閉館日の変更もあります。)
開館時間	午前9時～午後5時
入館料	無料

そのような荒廃した「ゼロの時代」に人々は戦後復興に向けて力強く、そしてしたたかに立ち上がりました。山野に散在する飛行機の残骸や砲弾の薬莖などから鍋やヤカン、アイロンなどの生活用品を一つひとつ創り出していきました。ジュラルミン製品などはその代表格です。



まさに「時代」と「必要」が生み出した人々の生きるための知恵であり、そのような苦難の時代を礎にして現在があることを忘れてはなりません。現代文明を形成した根源には、先人の英知と偉業があり、それを知る手掛かりとなるのが文化財です。私たちは常に文化財を通して古（いにしえ）の生活を垣間見ることができ、それによって「温故知新」の思想を後世につなげていく義務があると考えています。

歴史民俗資料展示室は、文化財の保護および啓発と、市民参加を念頭に入れた活用面に重点を置き、展示室を訪れるすべての人々が先人の英知と偉業に触れ、ふるさとの歴史を学習し、そして未来を創造する場にしたいと考えています。先人達が育んできた郷土の歴史や自然風土、そして未来について考える空間として市民の利便に供していきます。

歴史民俗資料展示室は、文化財の保護および啓発と、市民参加を念頭に入れた活用面に重点を置き、展示室を訪れるすべての人々が先人の英知と偉業に触れ、ふるさとの歴史を学習し、そして未来を創造する場にしたいと考えています。先人達が育んできた郷土の歴史や自然風土、そして未来について考える空間として市民の利便に供していきます。

展示概要

展示室は大きく 8 つのテーマを設け、豊見城市民のかつてのくらしの息吹が伝わる様々な生活用品、生産のための道具類、祭りや各種行事に使用した品々、そして市指定文化財など貴重な「歴史資料」や戦争の時代を伝える「遺物」などを展示紹介しています。

住まい	今では市内で見ることのできない茅（かや）葺き屋根の民家を再現し、生活道具等も展示。
農 具	田畑を耕したり、収穫した穀物を脱穀する農具等を展示。
漁 具	周囲をサンゴ礁の海に囲まれた沖縄は、海と共に歩んできた地域でもある。地理的・風土的諸条件に適合した沖縄独自の舟、サバニを中心に各種漁具を展示。
祭り・行事	12年に一度の字高安の「龕ゴウ祭」や6年越しに行われる字保栄茂や翁長の「豊年祭」など古くから伝わる祭りや伝統行事で使われた道具等を展示。令和元年に市有形民俗文化財に指定された「饒波の龕」を展示。
歴 史	本市で起こった歴史的出来事をつづった年表や、市指定有形文化財の「重修真玉橋碑」などで市の歴史について学ぶことができる。また、市内で発掘調査を行った遺跡から出土した土器、陶磁器、石器等の遺物を展示。

豊見城の沖縄戦	戦没者・疎開等に関する資料や、「忠魂碑」、市内の防空壕等から出土した軍装備品や砲弾の破片などを展示。
戦後復興～ 本土復帰	戦後、物資のない時代に人々が工夫し、作り上げてきた生活道具の展示。
豊見城の移民	『豊見城市史 移民編』の調査過程で得られた資料や統計資料等を展示。

5.3 市史の調査と記録



5.3.1 市史編集について

本市においては、昭和 39 年（1964）に豊見城の歴史・文化をまとめた『豊見城村史』が発刊された。その後、本土復帰や急激な都市化を経て、平成 14 年（2002）4 月には「村」から一気に「市」となる歴史的節目を経験するなど、市内情勢もあらゆる分野で大きな変貌を遂げてきました。

市町村史の編集についても、『豊見城村史』が発刊された 1960 年代は、歴史、民俗、産業、経済、教育、行政などの各分野を 1 冊にまとめ編集するのが一般的でした。

その後、市町村史編集は各分野別に暮らしの中や住民の視点から具体的資（史）料を紹介、それらを専門的に整理分析し、解説を加えながら編集する傾向へと移行しました。本市においても、文献資料、民俗、戦争、新聞資料、移民等の各具体的分野における記録を充実させていくといった観点から、平成 5 年（1993）に村史編集事業が再開され、現在は文化課が主管課として市史編集事業に取り組んでいます。

なお、市史の編集計画は、次のとおりとなっています。

第 1 巻「通史編（概論・各論）」

第 2 巻「民俗編」・・・・・・・・平成 19 年度刊行

第 3 巻「新聞集成編（戦前編）」・・・平成 21 年度刊行

第 4 巻「移民編」・・・・・・・・平成 28 年度刊行

第5巻「社会と文化・教育編」・・・平成28年度から編集作業開始

先の大戦で多くの人命と文化遺産を失い、全てを焦土と化した状況から、人々は戦後の新しい街づくりを目指して立ち上がっていきました。

戦争から70年を過ぎた今、戦争を乗り越えたもの、失われたもの、新たに創り上げたもの等、戦後を生きた豊見城の人々の歴史について、調査・記録を行う必要性があります。

具体的には、戦前から現在までの教育活動、戦後社会の歩みや復帰運動等の歴史、戦後復興した地域の伝統や各種社会団体の活動、村から市へと移行した本市の変遷等、社会・文化・教育の視点から調査・資料収集を行い、戦後の豊見城の人々が歩んできた歴史を伝えるため編集作業を行います。

第6巻「戦争編」・・・・・・・・・・平成13年度刊行

第9巻「文献資料編」・・・・・・・・・・平成9年度刊行

5.3.2 市史編集委員会

	氏名	役職名等	任期
1	吉浜 忍	編集委員長	令和5年3月1日 ～令和7年2月28日
2	齋藤 淳一	副委員長	同上
3	町田 宗博	編集委員	同上
4	宜保 剛	編集委員	同上
5	大城 博美	編集委員	同上

5.3.3 市史関連刊行物について

文化課では、下記の刊行物を市役所学校教育課及び文化課にて配布・頒布しています。
(無料配布刊行物については、文化課にて配布。各だよりは、文化課のホームページにてPDFファイルを公開しており、ダウンロード可能。)

豊見城市(村)史

	刊行物	刊行年	頒布額	備考
1	豊見城村史 復刻版	昭和39年初版 平成5年復刻	2,000円	
2	写真集『とみぐすく写真帳』	平成10年	2,000円	
3	豊見城村史 第9巻 文献資料編	平成10年	3,000円	

4	豊見城村史 第6巻 戦争編	平成13年	3,000円	
5	豊見城市史 第2巻 民俗編	平成19年	3,000円	
6	豊見城市史 第3巻 新聞集成編	平成22年	3,000円	
7	豊見城市史 第4巻 移民編	平成28年	3,000円	




豊見城市（村）史だより等

	刊行物（刊行年）	内 容
1	豊見城村史だより 創刊号（平成7年）	阿波根 直孝 「口上覚（原文と読み下し）」 宜保 喜久 「毛氏家譜を読む・毛氏家譜抄録」 大城 みゆき 「とみぐすく写真・生活資料展について」 大城 達宏 「沖縄県地域史協議会の研修に参加して」
2	豊見城村史だより 第2号（平成8年）	生田 滋 「『山南王国』と豊見城について」 （豊見城村立中央図書館開館記念講座） 當間 一郎 「組踊『未生の縁』について」 （豊見城村立中央図書館開館記念講座） 宜保 喜久 「「とみぐすく」の地名について」
3	豊見城村史だより 第3号（平成9年）	事務局 「豊見城村の戦没者（平和の礎より分析）」 証言 「部落を挙げて集団疎開」 証言 「山原疎開について」 証言 「学童疎開体験記」 証言 「私の戦争体験記」 証言 「学生時代の青春」 証言 「沖縄戦十七歳の防召兵」 大城 達宏 「「大城盛昌日記」について」

4	豊見城村史だより 第4号(平成11年)	宜保 喜久 「豊見城村における「防衛招集」の概要」 大城 達宏 「字ごとによって異なる戦争体験～沖縄戦字別実態調査について～」 大城 達宏 「戦時下の字上田」 大城 達宏 「戦時下の字瀬長」 儀間 淳一 「与根の塩づくり」
5	豊見城村史だより 第5号(平成11年)	宜保 喜久 「海軍電報について(解説)」 資 料 「海軍電報(「電報綴 南西諸島」・「南西諸島方面 電報綴」より)」
6	豊見城村史だより 第6号(平成13年)	事務局 「豊見城村高安の概況」 事務局 「龕と龕ゴウ祭について」 高江洲敦子・平識兼哉 「豊見城村字高安の龕ゴウ祭観察記録」
7	豊見城村史だより 第7号(平成14年)	平敷 兼哉 「7年ぶりのワラジナ、字豊見城の綱引き」 儀間 淳一 「豊見城村字与根の小地名」 大城 達宏 「「郵便貯金通帳」にみる戦前の人々の生活～国民貯蓄運動と豊見城村民～」
8	豊見城市史だより 第8号(平成17年)	稲福 政斉 「豊見城における初期の海外移民―『豊見城村史』の再検証を中心に―」 儀間 淳一 「豊見城市字与根の人生儀礼―産育と婚姻」
9	豊見城市史だより 第9号(平成18年)	平良 勝保 「<史料紹介>「他村<仕明地・旧地頭地・百姓地叶掛地>貢租収入帳 嘉数村」の若干の分析と解説」
10	豊見城市史だより 第10号(平成22年)	事務局 「八重山開拓の歩み」 事務局 「川原地区について」 事務局 「八重山の開拓村」 事務局 「八重山地域のマラリア」 事務局 「黒糖王国と呼ばれた川原地域」 事務局 「開拓で活躍した水牛」 事務局 「パインで成功を収めた大城満栄」 事務局 「牧畜とオウシマダニ」 事務局 「証言(6名)」
11	豊見城市史だより 第11号(平成24年)	事務局 「南米調査について/日程及び用務経過(ブラジル・ポリビア・ハワイ)」

12	豊見城市史だより 第12号(平成27年)	事務局 「村史余話・市史余話(1993年6月号～2004年8月号)」
13	豊見城市史だより 第13号(平成30年)	事務局 「世界のトミグスクンチュ歓迎会」 事務局 「座安久松、座安松について」 事務局 「カナダ初期移民のその後」 事務局 「豊見城村から最初に海外へ渡航した人たちのその後」 事務局 「ハワイに存在している「高良同志会」の結成について」 事務局 「ルーツ探しに『移民編』を利用する方法」 事務局 『移民編』の編集集中に行ってきたこと 事務局 『移民編』への感想紹介 事務局 『豊見城市史』、「市史だより」の紹介
14	豊見城市史だより 第14号(令和2年)	栗野慎一郎「土佐人漂着日記」を読む ー豊見城とジョン万次郎ー 栗野慎一郎〈史料紹介〉尚家継承古文書492号「土佐人漂着日記」ー解題と翻刻、現代誤訳及び脚注ー
15	私たちもトミグスクンチュ-We are Tomigusukunchu-(平成23年)	『Tomigusuku Immigration History』 Local Reports Exhibition (英語版)
16	私たちもトミグスクンチュ Nosotros somos Tomigusukunchu (平成23年)	『Historia de Inmigración de Tomigusuku』 Exposición de reportes locales (スペイン語版)
17	まだま第1号 (平成19年)	赤嶺 みゆき 「市史移民編「第4回世界のウチナーンチュ大会」関連のとりくみー「世界のトミグスクンチュ歓迎会」での聞き取り調査と移民関連展示についてー」 久貝 弥嗣 「字平良の海軍砲台に伴う軍構築壕群」 久貝 弥嗣 「字高嶺の試掘ー高嶺古島遺跡内ー」 久貝 弥嗣 「我那覇丘陵の軍構築壕群」 久貝 弥嗣 「瀬長グスク他範囲確認調査概報ー平成18年度の調査成果ー」 久貝 弥嗣 「翁長原遺物散布地C地点における試掘

		<p>調査「石畳遺構を中心として」 久貝 弥嗣 「字根差部（前原）の軍構築壕群」</p>
18	<p>まだま第2号 令和4(2022)年3月</p>	<p>島袋幸司 「豊見城市のデジタルアーカイブ作成－基礎自治体単位のデジタルアーカイブ作成実践記録－」 石田卓也・久貝祐子・長井沙也加 「地域写真集とみぐすく写真アーカイブ作成について」 石田卓也・久貝祐子・長井沙也加 「博物館資料のデジタルアーカイブ化作業について」 石田卓也 「戦後工業製品の流通に関する一考察－沖縄における清涼飲料水瓶－」 井口 学 「豊見城市内の小字名ヤンガチの周辺について－名嘉地、長堂の事例から」 名護宏奈「自治会所蔵資料の目録化について」 嘉数 聡「事件事故報道にみるアメリカ世の豊見城」 琉球語学研究室 「豊見城市高安方言の動詞活用資料」</p>
<p>*上記の市史（村）史だより等は、市公式ホームページからPDF形式でのダウンロードができます。 https://www.city.tomigusuku.lg.jp/kanko_bunka_sports/rekishi_bunkazai/2/1/3186.html <small>豊見城市史編集の刊行物</small> 上記リンクのQRコード→ </p>		

5.3.4 市史編集事業の沿革

平成 5 年

- 4/1 村史編集室設置（総務部企画調整課内）
村史編集委員会発足。「豊見城村史編集基本計画」を策定し、全巻 11 巻の発刊を決定。

平成 6 年

- 4/1 機構改革により総務部局から教育委員会へ所属変更。
機関名を「村史編集室」から「村史編さん室」へ改称

平成 7 年

- 2/15 『豊見城村史 復刻版』発刊
8/26 平成 7 年度「自分史づくり講座（終戦 50 周年記念事業）」開講（全 19 回開催）
11/10 『豊見城村史だより創刊号』発刊
11/16 「とみぐすく写真・生活資料展（終戦 50 周年記念事業）」開催（中央公民館中ホール ～ 11/18）

平成 8 年

- 6/14 平成 8 年度「自分史づくり講座」開講（全 20 回開催）
11/20 『豊見城村史だより第 2 号』発刊

平成 9 年

- 11/25 『豊見城村史だより第 3 号』発刊

平成 10 年

- 3/ 『写真集 とみぐすく写真帳』発刊
『豊見城村史第 9 巻 文献資料編』発刊

- 4/17 企画展「写真・民具特別展（村制施行 90 周年記念事業）開催」（中央公民館中ホール ～4/23）

平成 11 年

- 1/25 『豊見城村史だより第 4 号』発刊
12/15 『豊見城村史だより第 5 号』発刊

平成 12 年

- 4/1 機構改革により、社会教育課文化係と組織統合。新たに文化課が設置され、文化課村史編集係となる。

平成 13 年

- 3/30 『豊見城村史第 6 巻 戦争編』発刊
3/31 『豊見城村史だより第 6 号』発刊
9/29 「第 3 回沖縄県産本フェア」参加し豊見城村史発刊の刊行物を出品。（パレットくもじ ～ 10/14）

平成 14 年

- 3/29 『豊見城村史だより第 7 号』発刊
3/ 「豊見城村閉村式・94 年のあゆみ」写真資料の提供（～4 月）
4/1 豊見城市市制施行記念事業「過去・現在・未来展」において「過去展・20 世紀 豊見城－懐かしの原風景－」を出展（第 2 市庁舎 ～4/30）

平成 15 年

- 6/ 慰霊の日関連事業（展示会）

平成 16 年

- 7/ 『豊見城市史』第 4 巻「移民編」
専門部会発足

平成 17 年

- 3/31 『豊見城市史だより 8 号』発刊
3/ 豊見城市史編集委員会開催

平成 18 年

- 3/31 『豊見城市史だより 9 号』発刊
4/1 機構改革により市史係が文化係
へ統合される。
9/15 世界のウチナーンチュ大会移民
関連展示(市役所 1 階ロビー ～
10/6)
10/ 世界のウチナーンチュ大会開催。
「世界のトミグスクンチュ歓迎
会」において海外移住者や子弟
に聞き取り調査を行う。

平成 19 年

- 3/31 『まだま』第 1 号発刊
9/28 「移民編」八重山開拓移民現地
調査 (～10/4)

平成 20 年

- 3/31 『豊見城市史 第 2 巻 民俗編』
発刊
8/31～ 市史『移民編』南米移民現地調査
9/27 (ブラジル・ボリビア)

平成 21 年

- 6/ 慰霊の日関連事業 (市内戦跡を
巡る文化講座)
9/1 「移民編」現地調査 (ボリビア・
ブラジル) 報告展 (～9/18)

平成 22 年

- 3/31 豊見城市市史編集委員会
3/31 『豊見城市史だより 第 10 号』発
刊

- 3/31 『豊見城市史 第 3 巻 新聞集成
編』発刊
8/29 市史『移民編』ハワイ移民現地調
査 (～10/5)

平成 23 年

- 10/4 「私たちもトミグスクンチュ」
- 「豊見城市史 移民編」現地調
査報告展 - (～10/13)
10/ 「世界のウチナーンチュ大会」
参加者からの聞き取り調査

平成 24 年

- 3/31 『豊見城市史だより 第 11 号』発
刊
4/3 市制施行 10 周年記念展 ～豊
見城村から豊見城市へ～ (～
4/28)

平成 25 年

- 2/14 『豊見城市史 移民編』- 関西・
中京地区現地調査 - (～2/23)

平成 26 年

- 3/ 豊見城市史編集委員会開催

平成 27 年

- 2/25 豊見城市史編集委員会開催
3/31 『豊見城市史だより』第 12 号発
刊

平成 28 年

- 3/8 豊見城市史編集委員会開催
3/8 豊見城市史移民編専門部会
9/30 『豊見城市史』第 4 巻 移民編
発刊
10/20～ 世界のウチナーンチュ大会に
10/30 伴う展示会開催「世界に羽ばた
いた豊見城人たち」

平成 29 年

- 11/30 豊見城市市史編集委員会開催

平成 30 年

- 3/26 「豊見城市史第 5 巻社会と文化・教育編」専門部会開催
- 4/5 文化課収蔵資料整理
- 5/ 役所各課及び市内小中学校における資料等についてヒアリング調査（～10 月）
- 6/28 「豊見城市史第 5 巻社会と文化・教育編」専門部会開催

平成 31 年（令和元）

- 2/18 「豊見城市史第 5 巻社会と文化・教育編」専門部会開催
- 3/26 豊見城市史編集委員会開催
- 7/8 豊見城市史編集委員会開催
- 11/26 「豊見城市史第 5 巻社会と文化・教育編」専門部会開催

令和 2 年

一年を通して編集内容に関する文献リストの作成、文献の収集を行った。現地調査として小・中学校の調査 10 校、自治会資料調査 4 自治会を実施。各種資料データの整理を行った。

- 7/7 嘉数公民館資料等調査
- 7/9 " "
- 9/8 長嶺小学校・豊見城小学校調査
- 9/9 伊良波小学校・とよみ小学校調査
- 9/10 豊崎小学校調査
- 9/11 ゆたか小学校・豊見城中学校調査
- 9/14 保栄茂自治会より豊年祭衣裳（ハワイから送られてきた生地で作成された衣裳）搬入、撮影、データ作成
- 9/15 長嶺中学校資料調査
- 9/16 座安小学校・上田小学校調査
- 10/16 饒波自治会・翁長自治会資料等調査

令和 3 年

- 2/9～15 豊見城市体育協会調査

- 2/15 保栄茂自治会資料等調査
- 2/16 饒波自治会資料等調査
- 6/25 豊見城自治会資料等調査
- 6/28 我那覇自治会資料等調査
- 6/30 田頭・瀬長・渡嘉敷自治会等調査
- 7/1 宜保自治会等調査
- 7/2 伊良波・与根自治会資料等調査
- 7/5 座安・渡橋名自治会資料等調査
- 7/7 上田自治会資料等調査
- 7/9 翁長自治会資料等調査
- 7/13 名嘉地自治会資料等調査
- 7/14 高安自治会資料等調査
- 7/15 平良自治会資料等調査
島尻教育事務所図書室資料調査
- 7/19 金良・長堂自治会資料等調査
- 7/26 根差部自治会資料等調査
- 7/27 真玉橋自治会資料等調査
- 10/13 高嶺自治会資料等調査

令和 4 年

- 2/14 伊良波中学校調査
- 2/21 県立図書館にて資料確認調査
- 3/29 「豊見城市史第 5 巻社会と文化・教育編」専門部会開催

令和 5 年

- 1/27 「豊見城市史第 5 巻社会と文化・教育編」専門部会開催
- 4/13 「豊見城市史第 5 巻社会と文化・教育編」専門部会開催
- 4/20 市史編集委員会開催

5.4 豊見城市文化協会について

会員相互の連携を密にし、市民の文化の創造と振興に努めるとともに、優れた文化の普及発展に寄与し、豊見城市の文化の向上と活性化を図ることを目的に、平成5年3月30日に結成された。

令和5年5月14日現在、210名の会員。琉球古典音楽、琉球舞踊、琉球民謡、武術、日本舞踊、しまくとぅば等の部会があり、「文化祭」、「しまくとぅば子ども教室」「慰問公演」等、多彩な活動を推進している。

5.5 文化財保護・文化振興事業の沿革

平成4年

9/19 県芸術祭邦舞公演（村立中央公民館大ホール ～9/20）

平成5年

3/30 豊見城村文化協会結成（初代会長 親泊元盛氏）

10/31 第1回豊見城村文化祭開催（中央公民館大ホール）

11/1 字嘉数赤嶺家の『口上覚』（前大田親雲上勤書）を初の有形指定文化財（古文書）に指定

11/3 県芸術祭移動写真展（中央公民館談話ホール ～11/7）

11/6 県芸術祭組踊・古典音楽公演（中央公民館大ホール）

11/19 青少年郷土芸能鑑賞教室（中央公民館大ホール）

※村内3中学校の生徒が鑑賞
11/27 第2回土佐清水市ふるさと自慢大会へ文化交流団を派遣（～11/29）

※村文化協会古典音楽部、琉球舞踊部を派遣

平成6年

4/1 社会教育課内に文化係を設置し、文化振興事業、文化財事業及び民俗民具資料収集活動をスタートさせる。

7/19 オペラ鑑賞会（中央公民館大ホール）

9/24 豊見城村美術展開催（中央公民館大ホール ～9/25）

9/27 日露ピアノコンサート（中央公民館大ホール）

10/9 移動県民劇場「首里ユンタ」公演劇団ときわ座（中央公民館大ホール）

平成7年

3/4 文化講演会（外間守善氏「沖縄の歴史と豊見城」）（中央公民館大ホール・NHK共催）

3/29 「重修真玉橋碑」文化財指定
7/1 村文化協会琉球舞踊部発表会「踊りと組踊の夕べ」（中央公民館大ホール）

9/25 第2回豊見城村文化祭・美術展開催

10/15 わらびんちゃあ遊愛フェスティバル（終戦50年記念事業）（中央公民館大ホール）

12/9 県芸術祭琉舞公演（中央公民館大ホール）

平成 8 年

1/19 組踊「未生の縁」研究会発足（※豊見城を題材にした組踊で 241 年ぶりの上演を目的に発足した。・会長 當間一郎氏）

2/22 石垣市伊舎堂家「組踊台本」現地調査（「未生の縁」研究会）

3/9 村文化協会琉球古典音楽発表会（中央公民館大ホール）

3/ 『とみぐすく村の文化財巡り』発刊

5/19 第 3 回豊見城村文化祭開催（中央公民館大ホール）

7/11 豊見城村美術展開催（中央公民館大ホール ～7/14）

10/10 組踊「未生の縁」配役発表

10/26 第 1 回土佐清水市文化交流会（土佐清水市文化祭 ～10/29）

※村文化協会古典音楽部、琉球舞踊部を派遣

11/10 第 4 回豊見城村文化祭開催（中央公民館大ホール）

12/8 第 1 回南部芸能まつり（中央公民館大ホール）

平成 9 年

4/20 第 2 回組踊「未生の縁」再演

12/7 第 5 回豊見城村総合文化祭開催
第 2 回土佐清水市文化交流会（土佐清水市交流団来村）

12/ 『渡嘉敷後原遺跡群』報告書発刊

平成 10 年

3/ 「豊見城村歴史民俗資料館（仮称）」基本構想案策定

7/19 第 3 回組踊「未生の縁」公演（村制 90 周年記念事業）（中央公民館大ホール）

10/24 第 3 回土佐清水市文化交流会（土佐清水市へ村から交流団を派遣）

11/8 第 6 回豊見城村総合文化祭開催（中央公民館）

平成 11 年

3/ 『豊見城村の文化財』発刊

3/11 第 4 回組踊「未生の縁」公演（県立博物館）

11/6 第 7 回豊見城村総合文化祭開催
第 4 回土佐清水市交流会（土佐清水市交流団来村）

平成 12 年

3/ 『豊見城村の文化財（漫湖周辺の文化財と野鳥）』第 2 集発刊

3/18 第 1 回豊見城村文化財資料展「八月十五夜豊年祭写真展」（字保栄茂構造改善センター ～3/19）

4/1 文化課新設（「文化振興事業」「文化財保護事業」「村史編集事業」等の文化行政全般を強化することを目的に、従来 of 社会教育課文化係と村史編纂室を組織統合）

9/6 民俗文化財映像化事業（字高安ガンゴウ祭）※12 年に一度開催のガンゴウ祭を映像記録化。

10/21 第 5 回土佐清水市文化交流会（土佐清水市へ村から交流団を派遣）

11/4 第 8 回豊見城村総合文化祭開催（中央公民館 ～11/5）

11/23 「平敷屋朝敏生誕三百年記念事業」顕彰碑並びに歌碑建立記念式典（瀬長島コミュニティースポーツ広場）

12/17 県芸術祭洋楽（ジャズ）公演（中央公民館大ホール）

平成 13 年

3/6 『字与根大城家文書』文化財指定

- 6/11 豊見城村歴史民俗資料展示室プレオープン事業 文化財・民具資料等「収蔵品展」(~H14/2/末)
- 7/16 宜保アガリヌ御嶽発掘調査(~11/30)
- 11/3 第9回豊見城村総合文化祭開催(中央公民館)
第6回土佐清水市交流会(土佐清水市交流団来村)
- 11/23 「平敷屋朝敏顕彰碑及び組踊手水の縁等歌碑建立」一周年記念式典(瀬長島コミュニティースポーツ広場)

平成14年

- 3/ 『豊見城村の文化財(増補版)』発刊
- 4/1 豊見城市誕生
市制施行記念事業「とみぐすくの過去・現在・未来展」開催(豊見城市役所第2庁舎1階ロビー)
- 6/29 豊見城市文化協会創立10周年記念式典・祝賀会(中央公民館)
- 7/13 市制施行記念事業「とみぐすくま〜い(市内史跡巡り)」を開催
- 9/2 「豊見城市歴史民俗資料展示室」正式オープン
※オープン記念式典開催
- 11/3 第10回豊見城市総合文化祭開催(中央公民館)
第7回土佐清水市交流会(土佐清水市交流団来市)
※高知国体開催の都合により2年連続で交流団を受け入れ。
- 6/ 慰霊の日関連事業(展示会)

平成15年

- 3/9 平成14年度豊見城市文化体験プログラム支援事業「寄りてい遊ばな十五夜体験」開催(市総合グラウンド)
- 3/29 市民劇「とみぐすくで〜びる」上演(中央公民館)
- 3/31 『宜保アガリヌ御嶽』発掘報告書発刊

- 10/25 第8回土佐清水市文化交流会(土佐清水市へ市から交流団を派遣~10/28)

平成16年

- 6/ 慰霊の日関連展示
- 7/ ガイド養成講座(~8/)
- 9/ 「真玉橋遺構」整備工事
- 10/ 文化財巡り
- 11/6 第9回土佐清水市交流会(土佐清水市交流団来市)
- 11/ 根差部「クチャガー」緊急記録保存調査(H17/3 報告書発刊)

平成17年

- 6/ 慰霊の日関連事業(展示会)
- 8/ 瀬長グスク他範囲確認調査が始まる。(~11/)
- 10/22 第10回土佐清水市文化交流会(土佐清水市へ市から交流団を派遣~10/25)

平成18年

- 4/1 機構改革により市史係が文化係へ統合される。
- 6/ 慰霊の日関連事業(展示会)
- 7/ 7月~9月 瀬長グスク他範囲確認調査(~9/)
- 11/ 瀬長グスク範囲確認調査速報展開催
- 11/4 第11回土佐清水市交流会(土佐清水市交流団来市)

平成19年

- 2/10 文化講座(2/10・17・24 計3回)
- 2/22 「真玉橋遺構」文化財指定
- 3/31 『まだま』第1号発刊
- 6/ 慰霊の日関連事業(展示会)
- 10/27 第12回土佐清水市交流会(土佐清水市へ市から交流団を派遣~10/30)
- 11/ 文化講座(史跡巡り)

平成 20 年

- 1/ 文化講座（琉球竹笛づくり）
- 3/ 『瀬長グスク他範囲確認調査報告書』発刊
- 4/ 市内遺跡分布調査開始
- 6/ 慰霊の日関連事業（展示会）
- 8/1 「瀬長グスク発掘調査報告展」（「空の駅」瀬長島物産センター～8/24）
- 8/17 文化講座「瀬長島探索」
- 8/24 文化講座「陶磁器から見た瀬長グスク」
- 11/7 市指定文化財『口上覚』寄贈
- 11/11 琉球大学付属図書館貴重書展「文献資料にみる琉球・沖縄 in 豊見城」開催（～11/16）
- 11/13 岡波島視察

平成 21 年

- 6/21 戦跡めぐり
- 8/12 文化講座「市内にあるシーサーを見に行こう！作ってみよう！」（～8/13）
- 10/13 市内遺跡分布調査の確認調査（～H22/1/6）
- 1/4 岡波島視察
- 12/20 発掘調査見学会

平成 22 年

- 6/ 慰霊の日関連事業（展示会）
- 11/3 史跡めぐり

平成 23 年

- 8/ 文化講座「豊見城市内史跡ガイド養成講座」（～11月）
- 9/ しまくとぅば子ども教室（回数20回～12月）
- 10/ 「重修石火矢橋碑」、「豊見城グスク」発掘調査（～12月）
- 11/ 豊見城市総合文化祭

平成 24 年

- 2/ 保栄茂グスク及び保栄茂古島遺跡範囲確認調査及び豊見城グスク範囲確認調査
- 2/ 『とみぐすく市の文化財巡り』刊行
- 4/ 「重修石火矢橋碑」、「豊見城グスク」発掘調査報告書発刊
- 6/12 慰霊の日企画展「豊見城の沖縄戦」－むかし、ここも戦場だった－（～7/1）
- 6/30 慰霊の日関連文化講座「豊見城の沖縄戦」講師 吉浜忍（沖縄国際大学教授）
- 7/ しまくとぅば子ども教室（回数21回。～8月）
- 8/18 「夏休み子ども文化講座」－市内シーサー巡り&シーサー作り講座－
- 9/14 字高安「ガンゴウ祭」調査（写真記録）

平成 25 年

- 2/3 組踊「未生の縁」上演
- 3/ 組踊「雪払」台本復元発刊
- 3/16 豊見城市文化協会20周年記念式典
- 6/11 6月11～30日「慰霊の日」関連企画展示会『若者たちの戦争』開催（～6/30）
- 6/16 映画『ふじ学徒隊』上演
- 9/11 那覇空港沖合滑走路建設に伴う文化財調査

平成 26 年

- 2/5 大相撲元幕内力士「琉王関」化粧まわし等寄贈
- 2/23 文化講演会「組踊『雪払』と豊見城について」開催
- 1/27 名嘉地住民避難壕（通称がが）記録保存調査（～2/15）
- 3/18 名嘉地住民避難壕（通称がが）報告書刊行

- 4/22 沖縄県初の幕内力士「琉王展」開催(～5/18)
- 6/10 6月10～29日 慰霊の日関連展示会「戦争のきずあと」—『サバキナ壕』を通してあなたは何か見えますか?— 開催(～6/29)
- 6/ 『豊見城市の戦跡』刊行
- 6/22 市内戦跡巡り開催
- 9/19 字饒波龕(がん)屋記録保存調査(～9/26)
- 9/25 字饒波「龕」寄贈
- 10/30 学校組踊鑑賞会 組踊「執心鐘入」(長嶺小学校体育館)
- 11/4 歴史民俗資料展示室「新収蔵品展」開催(～11/30)
- 11/7 豊見城グスク確認調査(～H27/1/30)
- 12/17 学校組踊鑑賞会 組踊「執心鐘入」(豊見城小学校体育館)

平成 27 年

- 2/15 組踊「雪払」上演
- 3/1 とみぐすく“ディーブな”文化財めぐり開催
- 6/2 戦後70周年記念展示会「戦世の豊見城」(～6/28)
- 6/28 戦後70周年記念 文化講座「戦跡巡り」開催
- 8/22 第1回しまくとぅば豊見城大会開催
- 9/ 豊見城西原遺跡発掘調査(～12月)
- 11/22 戦後70周年記念 文化講座「ヤンバル疎開地(大宜味村)を訪ねるツアー」
- 11/24 戦後70周年記念展示会「あんやたさ!～アメリカ世の豊見城村～」開催(12/20)
- 11/26 学校組踊鑑賞会 組踊「執心鐘入」(豊崎小学校体育館にて)

平成 28 年

- 1/13 学校組踊鑑賞会 組踊「執心鐘入」(上田小学校体育館)

- 2/ わったーたからむん『ていみぐすくくとぅば』発刊
- 3/ 市内遺跡発掘調査等報告書刊行
- 5/31 慰霊の日企画展「北へ行った人びと」～沖縄戦と豊見城村疎開者たちの記録～(～7/3)
- 6/26 文化講座「ヤンバル疎開地を訪ねるツアー2016」
- 8/ 豊見城グスク範囲確認調査(～H29/3月)
- 10/30 「文化財説明板」設置文化財めぐり(4回講座 ～12/11)
- 11/1 平成26～27年度分「新収蔵品展」(～12/11)
- 11/22 学校組踊鑑賞会 組踊「執心鐘入」(伊良波小学校体育館)

平成 29 年

- 1/ 『豊見城西原遺跡発掘調査報告書』刊行
- 1/12 フィルム収集事業トークイベント(字高安)
- 1/22 フィルム収集事業トークイベント(字嘉数)
- 1/25 学校組踊鑑賞会 組踊「執心鐘入」(ゆたか小学校体育館)
- 2/5 フィルム収集事業トークイベント(字渡橋名)
- 2/9 フィルム収集事業トークイベント(字与根)
- 3/ 豊見城市内文化財説明板設置終了(平成24～28年度事業)
- 4/23 豊見城市文化協会総会
- 5/30 慰霊の日関連展示「戦世(イクサユ)の暮らし・想い・動き」開催(～7/2)
- 9/26 文化講座「文化財ガイド養成講座」(～10/24【8回】)
- 11/19 フィルム収集事業トークイベント(字上田)
- 11/21 学校組踊鑑賞会 組踊「執心鐘入」

- 入（とよみ小学校）」
- 11/22 市制施行 15 周年記念事業「文化講演会」講師：高良倉吉 氏
- 11/26 フィルム収集事業トークイベント（字長堂）
- 11/28 豊見城市文化財保護審議会開催
- 12/9 フィルム収集事業トークイベント（字座安）
- 12/19 学校組踊鑑賞会 組踊「執心鐘入（座安小学校）」
- 12/ 組踊「雪払」増補台本発行

平成 30 年

- 1/4 フィルム収集事業トークイベント（字宜保）
- 1/28 文化講座「ヤンバル疎開地を訪ねる」
- 4/22 豊見城市文化協会総会開催
- 6/5 慰霊の日関連企画展「家族を守った女性たち」開催（8/31）
- 8/12 しまくとぅば子ども教室開催（～8/12）
- 8/18 しまくとぅば南部地区大会
- 10/7 第 6 回特選「沖縄の伝統芸能」保栄茂自治会参加 「国立劇場おきなわ」にて
- 10/23 企画展：伊良波ゆかりの組踊「雪払」開催（～12/2）
- 11/4 豊見城市総合文化祭開催

平成 31 年（令和元）

- 1/27 組踊「雪払」上演
- 2/18 字饒波寄贈「龕」修復終了
- 3/28 「語り継ぐ 受け継ぐ 豊見

- 城の戦争記憶」試写会
- 5/28 企画展示会「語り継ぐ 受け継ぐ豊見城の戦争記憶」（9/1 まで）
- 8/11 文化講座「語り継ぐ 受け継ぐ豊見城の平和教育」
- 10/29 企画展示会「豊見城市の指定文化財～饒波の龕と印部石～」（～令和 2 年 3 月 31 日まで）
- 11/1 「饒波の龕」、「印部石 ニ かなは原」、「印部石 い をなか原」、「印部石 ロ めさしふ原」、「印部石 ヌ めさしふ原」文化財指定
- 12/15 文化講座「沖縄の葬制と墓」
－豊見城市域の龕を中心に－
講師：稲福政斉 氏

令和 2 年

- 6/29～R3.2/10
當銘正幸氏所有の民俗文化財寄贈資料搬入（約 3,000 点）
- 9/2～12/27
特別展示 「1945 年の豊見城っ子」
－75 年前の子どもたちがみた戦争－
- 9/23～R.3.2/10
豊見城グスク記録保存調査
- 9/29 デジタル博物館事業地域調査（豊見城公民館・饒波公民館より写真資料借用）
- 9/30 デジタル博物館事業地域調査（根差部公民館・伊良波公民館より写真資料借用）
- 10/6 デジタル博物館事業地域調査

- (翁長公民館より写真資料借用)
- 10/21 デジタル博物館事業地域調査
(高嶺公民館より写真資料借用)
- 10/29 デジタル博物館事業地域調査
(名嘉地公民館より写真資料借用)
- 11/2 高嶺古島遺跡出土「土製品」
【土馬】文化財指定
宜保アガリヌ御嶽出土「骨製品」
【ジュゴンの肋骨製品】文化財指定
- 11/16 文化財保護審議会(岡波島視察)
- 12/3 学校組踊鑑賞会
組踊「執心鐘入」(豊見城小学校)

令和3年

- 1/14 学校組踊鑑賞会
組踊「執心鐘入」(長嶺小学校)
- 2/26 デジタル博物館事業
『とみぐすく写真アーカイブ発刊』10自治会
- 3/19 字金良にて拝所等に文化財標柱
設置(10本)
- 3/24 當銘正幸氏へ民俗文化財資料寄
贈に伴う感謝状贈呈式
- 5/27 デジタル博物館事業地域調査
保栄茂自治会資料調査
- 6/28 デジタル博物館地域調査
我那覇自治会資料調査
- 7/15 デジタル博物館事業地域調査
平良自治会資料調査
- 7/19 デジタル博物館事業地域調査
金良自治会資料調査
- 7/21 デジタル博物館事業地域調査
真玉橋自治会資料調査

- 7/30 デジタル博物館事業地域調査
渡嘉敷自治会資料調査
- 6/8 美ら島おきなわ文化祭2022
(国民文化祭市町村ヒアリング
第37回国民文化祭、第22回全国
障害者芸術・文化祭)
- 6/22 慰霊の日関連展示会
「移民の戦世」
—「トミグスクンチュ」の戦争記録—
- 10/26 豊見城グスク発掘調査展
- 12/2 学校組踊鑑賞会
組踊「執心鐘入」(上田小学校)
- 12/12 文化講座「グスクの石積みの構造
と変遷」—豊見城グスクに見る石積みの
意義—
講師：沖縄県立博物館・美術館
学芸員 山本正昭 氏
- 12/13 美ら島おきなわ文化祭2022市
町村巡回広報大会旗引継ぎセレ
モニー
- 12/23 学校組踊鑑賞会
組踊「執心鐘入」(豊崎小学校)

令和4年

- 2/6 文化財保護審議会
- 2/28 デジタル博物館事業
『とみぐすく写真アーカイブ発
刊』13自治会
- 3/25 美ら島おきなわ文化祭2022
(第37回国民文化祭、第22回全
国障害者芸術・文化祭実行委員会
設立総会)
- 5/16 デジタル博物館事業地域調査
真玉橋戦前集落調査

5/23 デジタル博物館事業地域調査
瀬長戦前集落調査

6/1 慰霊の日関連展示会
「移民の戦世」－「トミグスクン
チュ」の戦争記録－（再展示）

8/2 記録、報道、証言からみる
「戦後・とみぐすく」
～アメリカ世とその前後の
時代の豊見城村～

8/18 美ら島おきなわ文化祭 2022
「豊見城市ジュニア川柳大会」表彰
式（第 37 回国民文化祭、第 22 回全
国障害者芸術・文化祭）

9/2 デジタル博物館事業地域調査
高安台自治会資料調査

9/16 デジタル博物館事業地域調査
豊西自治会調査

9/22 デジタル博物館事業地域調査
真玉橋団地自治会調査

10/5 デジタル博物館事業地域調査
豊崎自治会調査

10/23 美ら島おきなわ文化祭 2022
（第 37 回国民文化祭、第 22 回
全国障害者芸術・文化祭）
・豊見城市総合文化祭 【第 1 部】
・組踊「手水の縁」上演 【第 2 部】

10/30 美ら島おきなわ文化祭 2022
「響むまち・豊見城 川柳の祭典」
（第 37 回国民文化祭、第 22 回全
国障害者芸術・文化祭）

11/13 豊見城市市制施行 20 周年記念、
真玉橋架橋 500 周年記念関連文

化講演会ベント「デジタルでよみ
がえる真玉橋とその歴史」
講師：上里隆史 氏

（豊見城市立中央公民館大ホール）

11/16 学校組踊鑑賞会
組踊「執心鐘入」（伊良波小学校）

11/21 学校組踊鑑賞会
組踊「執心鐘入」（ゆたか小学校）

11/24 学校組踊鑑賞会
組踊「執心鐘入」（座安小学校）

11/29 学校組踊鑑賞会
組踊「執心鐘入」（とよみ小学校）

令和 5 年

1/28～1/29

「豊見城市歴史民俗資料展示室巡
回展」（我那覇公民館）

2/6 文化財保護審議会開催
市制施行 20 周年記念事業

2/18～2/19

「豊見城市歴史民俗資料展示室巡
回展」（高安公民館）

2/28 デジタル博物館事業
『とみぐすく写真アーカイブ発
刊』 5 自治会

3/20～3/27

「豊見城市歴史民俗資料展示室巡
回展」（道の駅豊崎 情報ステー
ション）

3/27 「忠魂碑」学校教育課より移管

6/13～7/30

「戦世の豊見城」
－戦後 78 年・慰霊の日関連企画展－